



【教育目標】 自ら学び正しく判断して行動する国際性豊かな児童生徒の育成を
～～～ 一人一人が輝く子どもの姿を求めて ～～～

☆6月の目標

- ☆「学習のまとめをしよう
- ☆みんなとなかよくしよう
- ☆笑顔であいさつしよう

☆配布物のお知らせ

1 学校便り

- ・6月24日 1学期終業日
- ・8月 5日 2学期始業日
- ・9月23日 運動会

※学校事務室<閉鎖>
・7月3日～14日

※今日で1学期が終了し、長い夏休みに入りました。アメリカでしか経験出来ないことに挑戦したり、一時帰国の皆さんは、日本の良さにふれあう機会にしてほしいと思います。

☆三年二組

とてもいそがしいお父さん

戸田りょうせい

ぼくのお父さんは、おしごとがとて
もいそがしいです。インディアナだけ
でなく、いろんなところへ行っ
てしごとをしています。おとうさんのしごと
は、車のぶひんを売るしごとです。
いそがしいけどたばこは一日一回す
います。いろんなところでしごとを
したいへんだと思います。お父さん
ならってぼくもがんばります。休
みの日は、バスケットボールをし
ます。ドリブルやシュートをぼく
に教えてくれます。ぼくはそんな
お父さんが大好きです。

☆二年一組

えにっき

すずき けんた

ぼくは、日曜日にインディアナ500
を見に行きました。ぼくは、さとう
たけまを応援しました。せきにつ
いたときは、二いから三いでした。
でも、とちゅうはずっと十いでした。
しかし、さいごのちゅうくうらい
で一いになってそのま
まゴールしました。かぞく
みんなでよろこびました。



☆二年一組

えにっき

森村 こころ

わたしはメモリアルパークエン
ドのとき、ケンタッキーにい
きました。ギフトショップで
お父さんにキーホルダーを
かかってもらいました。キー
ホルダーは、ピンクでヘルメ
ットの形をしています。それ
から、フロアサインアガラ
を見ました。ナイアガラが
おいてるパージョンみ
たいです。わたしは、
きもちわるいな
とおもいました。



☆一年二組

えにっき

野田 あかり

わたしのすきなたべものは、
アイスクリームです。どう
してかといふと、あついで
ひんやりできるし、
おいしいからです。



☆一年二組

えにっき

かぶと たける

ぼくは、メロンが
すきです。どうしてか
というとき、あまくて
おいしいからです。

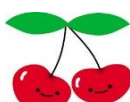


☆一年二組

えにっき

まき じゅんせい

ぼくは、さくらんぼが
すきです。どうしてか
というとき、あまくて、
ふたつつながっている
と、うれしいから
です。



☆一年二組

えにっき

にしな さよこ

わたしは、ちよこれーとちよ
くっきーがすきです。どう
してかというとき、ちよ
これーとさくがまざって、
おいしいからです。あ
いすは、なつにたべると
つめたいからです。わた
しは、ぴーまんもすき
です。でも、さいしょは
にがくてたべられな
かったけど、おいしい
からです。



☆四年一組 「ぼくのお父さん」

山下 珠生

ぼくのお父さんとおかあさんはやさしいです。お母さんはいつも、ぼくのめんどうをみてくれます。料理がとくいでいつもおいしいです。お母さんは、たくさんかばんを持っていきます。いつもせんたくなどをして大変だと思えます。ぼくはお手伝いをしてあげたいです。それに勉強を分かりやす説明してくれます。お父さんは、いつも会社に行っています。すごく大変だと思いますが、たくさん旅行につれて行ってくれます。旅行はすごく楽しみです。お父さんがいなかったら、旅行はつまらないと思います。なぜなら、お父さんは、おもしろいからです。焼肉は、お父さんが焼いたのがいちばんおいしいです。すごくおいしいので、もっと作ってほしいです。ぼくはお父さんとお母さんがすきです。なぜなら、今幸せに暮らしているからです。すごくかんしゃしています。

☆六年二組 「森へ」を呼んで

佐野 泰隆

森へは、星野道夫が書いた紀行文でアラスカへ行ったときのお話です。この筆者は、五感をうまく使ってこの文を書いています。巨木をぬけ、森に足を踏み入れると辺りは、夕暮れのように暗くなりました。という一文があります。夕暮れ...という表現は、完全に暗くなっていないが、光は多く無いと言う事を伝えていきます。筆者の写真と言葉の使い方もうまいと思います。びっしりとコケに...には、写真を見せて本当ににびっしりしている様子を伝えていきます。森へは、言葉の使い方や写真などをうまく使って書かれた楽しい紀行文です。

☆六年二組 「森へ」を呼んで

江西 絢香

森へを読んでいる時、私は本当に森の中にいるのかと思えました。頭の中においしげっている森が浮かび、今にも動物たちがきそうでした。また、筆者の写真は迫力があり、魅力的だと思えました。特に、クジラとクマの写真です。何故なら恐ろしい写真は私にはとれないからです。とても勇気のある人だと思います。私は、こんなにもすてきな本に出会えてとてもうれしです。

☆六年二組 「森へ」を呼んで

川田 琢磨

ぼくは、この話を読んで二つ好きな部分があります。一つ目は、伊ケが森を作るというアラスカの森に生きる人たちの古いことわざです。確かに、そうだなとぼくは思いました。産卵を終えて死んだ無数のサケが、上流から下流へと流されて森の自然に栄養を与えていることがとても良いと思えました。ぼくはこれからは、五感を働かせながら森へ行きたいと思えました。

☆六年二組 「森へ」を呼んで

松井 那菜

森へを読んで思ったことは、私たちも森に來ているかのように思えたことです。この作品は、私にとって本を好きになつたきっかけの一つです。アラスカの自然や動物たちの気持ちになつた物語だと思えます。表現がとても分かりやすくわくわく楽しい気持ちになります。私は川で、クマがサケを取っている場面が好きです。

なぜかという、クマがサケを取る場面はなかなか見れないし、水しぶきやさけが今にも動き出すようなところが好きです。私や皆さんの心や気持ちをおだやかにしたり、わくわくしたり楽しくしてくる一冊だと思えました。私は、この本を何回も読みたいと思えました。

☆六年二組 「森へ」を呼んで

杉原 広大

僕は、この本を読んで、筆者の表現がとてもうまくて、森にいるような気持ちになりました。そして、筆者の一枚ずつの写真が心がこもっているようです。補習校の林の中を監察したが、筆者の写真と比べるととても深い森だと思えます。そして、すごいと思ったのは、クマがサケをくわえている写真です。クマがまわりにはいっぱいいるのに、写真をとるときようがあるなんて、すごいと思えました。この作品を読んで、僕も深い森に行

☆六年二組 「森へ」を呼んで

大橋 茉歩

私は、筆者の風景の表現の仕方の部分が好きです。カヤックに乗っているときの白い太陽が現れては消えていく部分です。これは、きりのかかった太陽が消えたり現れたりすることを表しているのだと思えます。他にも様々な物が着物のように垂れ下がっている表現です。私が感動した部分は、筆者が、地面に横たわる古い倒木の上から、一列のびている光景を見て、昔話を想像したところでした。倒木の種子が成長していく仮説を立てました。私は、この物語を読んで、たくさん命がなくたって、他に栄養を与え続け生かすことができることを学びました。

